

経年変化するカメラの取り付け状態を監視『防犯カメラの落下予兆』

■課題

防犯カメラを取り付けてから経年劣化でカメラが落下する事故の恐れがあります。建物の壁面などや店舗の天井に取り付けられた防犯カメラを目視点検のみで明確な点検方法がなく、事故が起きてからでは遅すぎます。設置場所によっては風雨や日光にさらされる過酷環境もあり高所に設置されている。点検作業は大がかりとなり状況把握の効率化が必要です。

■概要・期待効果

従来の目視確認を主体とする点検とは異なり、点検を行わなくても防犯カメラの状況を常時・定量的に把握することで屋外広告物の維持管理を行うことができます。結果として、定期的な点検を減らすことや高所作業メンテナンスの削減で人件費のコスト削減が図れます。

